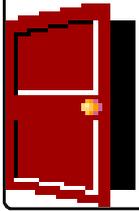


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No.96

桑村小学校令和6年2月20日 文責 渡邊

楽しく学んだ「生命の教育」!! 豊かな「感性」をいっぱい感じる事ができました

19日(月)に、校長は6年生児童を対象に、『生命の教育』の授業を行いました。この授業を通して、「生命の大切さ」と「感謝の気持ち」について、子供たちとともに「感性」を働かせながら深く考えました。

授業を終えての振り返りから、子供たちの優しい思いが感じられ、とても幸せな気持ちになりました。



【「生命の教育」の様子①】



【「生命の教育」の様子②】



【「生命の教育」の様子③】



【「生命の教育」の様子④】



【「生命の教育」の様子⑤】



【「生命の教育」の様子⑥】

【「授業を終えて」子供たちの「振り返り」の一部より】

「いのちの歌」は、聞いたことのない歌だったけれど、今日聞いて、「命」についてしっかりと考えさせられました。家族がいないと今の自分がいなかったことをしっかりと考えました。

私は「いのちの歌」で最後の「生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと 笑ったこと そのすべてにありがとう この命にありがとう」のところが大好きです。これからも「感謝の気持ち」を忘れずに生活していこうと思います。

今日の授業で感じたことは、今まで生きていたのは当たり前のことだと思っていたことが、人にはそれぞれよいところがあるので、自分の思いを大切に生きることが大切だとわかったことです。また、自分の名前には家族の大切な思いがあるので、そうした思いを大切に生きていくことも大切なことだと感じました。

6年生の皆さん、とても素敵な時間をありがとうございました。皆さんのこれからの活躍を応援しています。